



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社日新 上場取引所 東
 コード番号 9066 URL <https://www.nissin-tw.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石川 操 (TEL) 03(3238)6631
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (オンライン形式にて機関投資家・アナリスト向けに開催)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	69,183	△33.1	△251	—	612	△73.5	△155	—
2020年3月期第2四半期	103,408	△5.5	1,897	△32.8	2,309	△29.2	1,455	△33.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 803百万円(△15.0%) 2020年3月期第2四半期 945百万円(△52.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△7.97	—
2020年3月期第2四半期	73.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	121,005	60,666	48.2
2020年3月期	118,678	60,437	48.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 58,268百万円 2020年3月期 58,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2021年3月期	—	28.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	△25.5	100	△97.2	1,000	△75.7	300	△88.9	15.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	20,272,769株	2020年3月期	20,272,769株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	723,532株	2020年3月期	723,189株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	19,549,421株	2020年3月期2Q	19,765,251株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2020年11月26日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催します。
ただし、新型コロナウイルス感染予防のためオンライン形式にて行う予定です。
この説明会で使用する決算説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	
(追加情報)	
(セグメント情報等)	
(その他の注記事項)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期の経営成績

当第2四半期累計期間における世界経済は、中国及びアジアの一部地域で回復の動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念は依然継続しており、本格的な経済活動再開には至りませんでした。当社におきましても、貨物の動きは緩やかながら回復傾向を示しましたが、旅客数の減少は依然厳しい状況が続きました。このような状況下、当社グループは感染拡大の予防、テレワーク、サテライト事務所設置等、感染拡大防止に努めるとともに、一層の経費削減に取り組みました。しかしながらこれら諸施策実施の効果は限定的であり、厳しい経営環境が継続しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間（以下「第2四半期」）における売上高は前年同期比33.1%減の69,183百万円、営業損失は251百万円（前年同期 営業利益1,897百万円）、経常利益は前年同期比73.5%減の612百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は155百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益1,455百万円）となりました。セグメントの業績は以下のとおりとなります。

②セグメントの業績

(i) 物流事業

[日本]

輸入関連は旺盛な中食需要継続により食品関連輸入、倉庫保管、国内配送案件が堅調に推移しました。また、生活雑貨貨物の輸入、倉庫保管、家電製品の取扱いも好調でした。輸出は、航空便の減便等で輸送量が制限され、取扱い総重量は伸び悩みましたが、中国での工業製品生産の回復に伴い、電子部品の航空輸出が第2四半期を通じ、好調を維持しました。

[アジア]

インド、タイ、マレーシアにおいて自動車関連貨物の荷動きが徐々に回復、ベトナムでは電子部品関連の扱いが増加、特に航空貨物輸出が好調でした。

[中国]

工業製品生産の回復が著しく、国内需要も活発でした。これらに伴い米国向け電子機器、部品の航空輸出、生活雑貨貨物の欧州向け鉄道輸送、日本向け家電製品輸出が好調でした。中国国内向け生活雑貨関連のDC業務も底堅く推移しました。

[米州]

食品の日本向け海上輸出は第2四半期を通じ堅調に推移しました。自動車関連貨物は7月以降緩やかながら荷動きの回復が始まり、倉庫部門は堅調に推移しました。一方、フォワーディング部門は伸び悩みました。

[欧州]

ドイツでの家電製品の倉庫保管、配送業務はほぼ例年の物量まで回復しましたが、英国、ドイツの自動車関連貨物の荷動きは依然低迷しました。

この結果、売上高は前年同期比7.3%減の67,090百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比37.7%減の742百万円となりました。

(ii) 旅行事業

日本発着便については一部の地域間でフライトが再開されましたが、依然、旅客数の回復には至っておりません。

この結果、売上高は前年同期比95.1%減の1,496百万円、セグメント損失（営業損失）は1,379百万円（前年同期 セグメント利益（営業利益）239百万円）となりました。

(iii) 不動産事業

インバウンド需要低迷により京浜地区における駐車場収入が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比9.4%減の776百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比17.5%減の378百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の影響により貨物量、旅客数が減少したことなどから売上高が減少し、受取手形及び売掛金が減少しましたが、新倉庫への設備投資や土地の取得を行い、有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,326百万円増の121,005百万円となりました。

負債は、資産と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により売上原価が減少し、支払手形及び買掛金が減少しましたが、新倉庫への設備投資資金などの調達により長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,097百万円増の60,338百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が減少しましたが、その他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ229百万円増の60,666百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.7ポイント減の48.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の現金及び現金同等物の残高は20,426百万円で、前連結会計年度末に比べ1,952百万円の資金の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは3,479百万円の収入となり、前年同期に比べ177百万円収入が減少しました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは5,106百万円の支出となり、前年同期に比べ3,162百万円支出が増加しました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,587百万円の収入となり、前年同期に比べ6,085百万円収入が増加しました。その主な要因は、長期借入れによる収入が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症は世界経済に重大な影響を及ぼし、第3四半期以降も感染拡大リスクは予断を許さない状況です。このような状況下、当社グループの扱う貨物量は5月を底に徐々に回復してきており、特に中国、一部の東南アジアでは貨物量が昨年同時期を上回る地域も出始めています。日本においても食品や生活雑貨の国内消費はコロナ禍の中でも活発な動きを見せ、第3四半期以降も倉庫保管、配送業務は堅調を維持するものと思われれます。化学品・危険品の国内需要も底堅く、危険品関連の設備投資を引き続き進めてまいります。自動車関連貨物は5月を底に緩やかではありますが物量回復の動きを見せております。このように、物流事業については新型コロナウイルス感染症の影響による物量低迷の底を脱し、今後貨物量の増加が期待できますが、旅行事業については、旅客数の回復までには相当な時間を要するものと考えられます。同事業につきましても、アフターコロナを見据えた長期的な事業戦略を検討すると共に、短期的な諸施策も併せ現在策定中です。

このような状況を踏まえ、当社は4年目を迎えた第6次中期経営計画の定量目標を取り下げる事といたしました。本中期経営計画につきましては、数値目標は取り下げるものの、事業拡大施策である自動車、化学品・危険品、食品分野への取組みについては継続して注力するとともに、設備投資とグループ経営基盤強化についても計画通り進めてまいります。

なお、2020年8月6日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,367	21,807
受取手形及び売掛金	24,060	21,319
原材料及び貯蔵品	105	87
その他	5,246	4,364
貸倒引当金	△86	△82
流動資産合計	48,693	47,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	61,755	62,604
減価償却累計額	△40,798	△42,370
建物及び構築物(純額)	20,956	20,233
機械装置及び運搬具	14,458	14,410
減価償却累計額	△10,561	△10,817
機械装置及び運搬具(純額)	3,896	3,592
土地	21,833	23,523
その他	4,574	6,889
減価償却累計額	△2,633	△2,746
その他(純額)	1,941	4,143
有形固定資産合計	48,629	51,493
無形固定資産		
借地権	507	505
その他	1,182	1,181
無形固定資産合計	1,689	1,687
投資その他の資産		
投資有価証券	13,093	14,261
長期貸付金	532	373
退職給付に係る資産	846	900
繰延税金資産	1,622	1,141
その他	3,696	3,782
貸倒引当金	△125	△132
投資その他の資産合計	19,666	20,328
固定資産合計	69,985	73,508
資産合計	118,678	121,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,803	9,321
短期借入金	9,211	10,035
リース債務	2,282	2,201
未払法人税等	940	674
賞与引当金	2,158	1,977
役員賞与引当金	38	—
その他	6,083	5,102
流動負債合計	31,518	29,313
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	13,658	18,324
リース債務	3,143	2,849
長期未払金	352	171
繰延税金負債	584	592
退職給付に係る負債	5,073	5,224
その他	1,910	1,861
固定負債合計	26,722	31,024
負債合計	58,241	60,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,711	4,711
利益剰余金	48,298	47,593
自己株式	△1,063	△1,064
株主資本合計	58,043	57,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,621	3,465
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△1,237	△1,231
退職給付に係る調整累計額	△1,404	△1,303
その他の包括利益累計額合計	△19	930
非支配株主持分	2,413	2,397
純資産合計	60,437	60,666
負債純資産合計	118,678	121,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	103,408	69,183
売上原価	87,145	56,787
売上総利益	16,262	12,395
販売費及び一般管理費	※1 14,364	※1 12,647
営業利益又は営業損失(△)	1,897	△251
営業外収益		
受取利息	53	38
受取配当金	248	222
持分法による投資利益	171	30
為替差益	47	41
助成金収入	—	614
その他	146	202
営業外収益合計	667	1,149
営業外費用		
支払利息	215	189
その他	40	96
営業外費用合計	255	285
経常利益	2,309	612
特別利益		
固定資産売却益	18	26
受取保険金	※2 122	—
特別利益合計	140	26
特別損失		
特別退職金	—	※3 166
投資有価証券評価損	113	24
固定資産除却損	3	7
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	117	199
税金等調整前四半期純利益	2,333	439
法人税、住民税及び事業税	992	531
法人税等調整額	△184	61
法人税等合計	807	592
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,525	△152
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,455	△155

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,525	△152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	854
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△442	△7
退職給付に係る調整額	105	100
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	8
その他の包括利益合計	△580	956
四半期包括利益	945	803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	794
非支配株主に係る四半期包括利益	39	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,333	439
減価償却費	2,430	2,542
特別退職金	—	166
助成金収入	—	△614
受取保険金	△122	—
固定資産売却損益(△は益)	△18	△25
固定資産除却損	3	7
投資有価証券評価損益(△は益)	113	24
持分法による投資損益(△は益)	△171	△30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	12
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	△38
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△42	△54
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	373	153
受取利息及び受取配当金	△301	△260
支払利息	215	189
売上債権の増減額(△は増加)	1,116	2,725
その他の流動資産の増減額(△は増加)	69	827
仕入債務の増減額(△は減少)	△933	△1,464
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△389	△1,001
その他	△103	20
小計	4,505	3,619
利息及び配当金の受取額	342	339
利息の支払額	△216	△188
特別退職金の支払額	—	△166
助成金の受取額	—	614
保険金の受取額	122	—
法人税等の支払額	△1,097	△738
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,656	3,479

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△87	△623
有形固定資産の取得による支出	△1,856	△4,293
有形固定資産の売却による収入	21	40
無形固定資産の取得による支出	△187	△142
投資有価証券の取得による支出	△17	△16
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	9	2
その他	176	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,943	△5,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△44	△430
長期借入れによる収入	—	6,510
長期借入金の返済による支出	△578	△568
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△1,193	△1,349
配当金の支払額	△555	△549
非支配株主への配当金の支払額	△39	△23
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△86	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,498	3,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,005	1,952
現金及び現金同等物の期首残高	17,846	18,474
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	905	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,746	20,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度における有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	72,328	30,351	728	103,408	—	103,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	66	128	246	△246	—
計	72,379	30,418	857	103,654	△246	103,408
セグメント利益	1,192	239	458	1,891	6	1,897

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,046	1,491	645	69,183	—	69,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	5	131	180	△180	—
計	67,090	1,496	776	69,363	△180	69,183
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	742	△1,379	378	△258	6	△251

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(その他の注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
貸倒引当金繰入額	1百万円	42百万円
給料及び手当	7,139 "	6,623 "
賞与引当金繰入額	1,328 "	1,070 "
役員賞与引当金繰入額	32 "	— "
退職給付費用	410 "	407 "

※2 受取保険金

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

2018年8、9月に発生した台風の被害における保険金の受取額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

※3 特別退職金

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

連結子会社である日新(常熟)国際物流有限公司における、特定顧客向け事業の縮小に伴う、従業員の退職金であります。